

## 第2学年 外国語活動学習実践

### ○学年の取り組み

#### ①学習の流れの掲示

見通しをもって、安心して授業に臨めるように外国語の学習で、流れを提示した。いつも同じ流れにし、その部分が終わるとカードを外したり、花丸を付けたりした。

##### 【流れの例】

1. Greeting
2. Practice
3. Game 1
4. Game 2
5. Look Back



#### ②ゲームの活用

単語を多く発音するゲームと単語を使ってコミュニケーションをとるゲームの2つを必ず入れるようにした。ゲームを活用するときには、児童の実態に合ったものを選ぶよう心がけた。児童が安心して取り組めるよう、2単元は同じゲームを行うようにした。

### ○子どもの姿（成果と課題）

授業を構造化したことと、それに合わせて学習の流れの掲示をしたことにより、毎時間取り組むことが明確になったため、多くの児童が授業に進んで臨む姿が見られた。

児童の実態に合ったゲームを、その都度話し合いながら選んだり、2単元は同じゲームを行うようにしたりしたことで、ルールに時間を割きすぎることなく、活動時間を確保できた。子どもたちは英語をしゃべろう、英語を使おうとしていた。友だちとかかわる活動を常に入れていたことで、ほとんどの児童が英語を使ってゲームを楽しんだり、友だちに話したりしていた。

将来的には生活の中で、相手意識をもって主体的にコミュニケーションをとることを目指す。そのために、入門期として低学年では、ゲームの中で英語を使いたいと思える場面設定を考えていきたい。

発音練習をゲーム形式で行ったが、結局復唱を行っているのと変わりなかった。遊びながら、体を動かしながら自然と発音練習できる手立てを探していきたい。